

令和6年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針等

施設名：大阪府立少年自然の家

| 評価項目 | 評価基準 | 評価委員の指摘・提言等 | 改善のための対応方針 | 次年度以降の事業計画等への反映内容 |
|---|--|--|--|--|
| I 提案の履行状況に関する項目 (3) 利用者の増加・サービスの向上を図るための具体的手法・効果 | ②施設・設備への投資が適切になされているか | バーベキューガーデンについて、繁忙期のみではなく、季節に合わせたイベントの開催・企画等をおこなうことにより、利用者数増が期待できないか。 | バーベキューガーデンの利用について、自主事業のイベントでの活用の工夫や、団体利用者や他イベントの参加者への効果的な提案について、より一層行うことを指定管理者へ求める。 | SNSによる広報等、幅広い周知方法を実施するとともに、学校団体の校外学習における利用や、様々なバーベキューガーデンを使用したイベント企画の提案をおこなう。 |
| II さらなるサービスの向上に関する事項 (3) その他創意工夫 | ・その他のサービス向上につながる取組み、創意工夫がされているか（危機管理を含む） | できるだけ自然体験という施設の利用目的を外さずに、多様な利用の仕方を受け入れていってほしい。 | さまざまな団体が多様な使い方をできるように、特に閑散期は積極的にスポーツ団体や企業、海外からの利用者等に宣伝・アプローチをおこない、研修・宿泊施設としての利用を促進していきけるよう指定管理者に求める。 | 引き続き、観光局や経済団体、スポーツ団体等に宿泊案内やパンフレットを配布して利用について促していく。また各種SNSやホームページ等でも宣伝をおこなっていく。 |